

東日本大震災で被災した人たちに支援をしてほしいです。市では、どのような支援を行っていますか。(匿名)

市では、3月12日に津山市東日本大震災復旧支援本部を設置しました。
3月14日から義援金の受け付けを行い、4月14日現在、約5773万円が寄せられています。この義援金は岡山県などで構成する「東北地方太

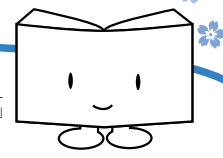
平洋沖地震災害義援金」募金運動推進本部を通じて被災者へ届けられます。
また、平成22年度3月定例市議会において東北地方太平洋沖地震災害見舞金2千万円が議決され3月30日に岡山県市長会を通じて被災地へ送金しました。

救済物資の受付は3月16日から4月1日まで行い、毛布やバスタオルなど約2万7千点が集まり、岡山県を通じて被災地へ送りました。
職員の派遣活動は、これまで水道局職員が3月14日から24日まで宮城県仙台市で給水活動を行い、保健師が4月3日から9日まで岩手県大船渡市の避難所で健康相談を行いました。

このほか、被災者の受け入れ体制を整備し、市内住宅への入居支援や生活相談を受け付けています。
市民の皆さんの善意に感謝するとともに、これからも引き続きご協力をお願いします。

問い合わせ先 津山市東日本大震災復旧支援本部 421-7008

つやまっ子に贈る100冊の本



つやまっ子読書プランキャラクター「ぶっちゃん」

少ない文字で伝える多くの意味



推薦者
河原 和枝さん
(川崎)

本を開くと2ページたった1つの詩が飛び込んできます。左に日本語で、右に英語でさまざまな生き物を題材にした短い詩が書かれている

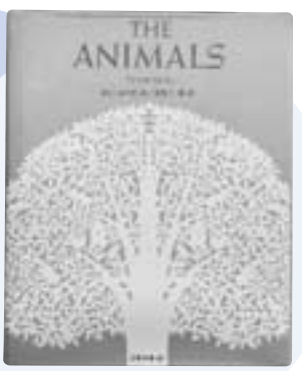
「THE ANIMALS - どうぶつたち」。

子どもには、まず、読み聞かせて詩を聞かせ「ぞうさん」「チョウチョウ」「アリ」など動物の特徴をうまくとらえて表現された詩に心をこめて読み聞かせをしてあげました。

詩によってどんな動物なのか、姿なのか、色なのか、どんな動きをしているのかなど、子どもの頭の中では想像がどんどん膨らんでくると思います。

この本に書かれている詩は難しいものではありません。それがかえって大人が読んでも意味深く感じます。子どもが大きくなって、本を読み返した時、この本が伝えるいろいろな意味を感じて欲しいと思います。

子どもには、この本を通じて、家族や友だちなどの「人」に限らず、生き物すべてを大切にして欲しいと願っています。



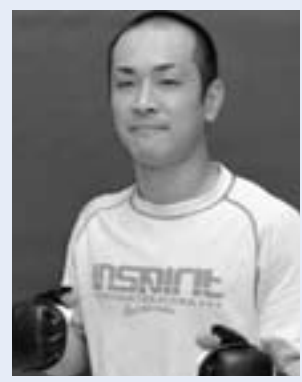
「THE ANIMALS - どうぶつたち」

まど・みちお 詩
安野光雅 絵
美智子 選・訳
(すえもりボックス)

きらめく津山人

みんなに感謝して戦う

総合格闘技道場「セコンドアウト」所属
西山 恭央さん(加茂町行重)



総合格闘技のプロ選手として県北では初めてデビューした西山さん。4月に行われたデビュー戦を終えて新たに芽生えた、格闘技にかける思いを伺いました。

始めたきっかけは？

5年ほど前、市内でたまたま目にした、道場の会員募集チラシに興味を沸いて、道場の門を叩きました。小中学校の時、柔道をやっていたので少し腕に自信がありました。実際にやってみると、私より体格の小さな選手に簡単にねじ伏せられてしまいました。それがとても悔しくて、通うようになりました。

プロとアマチュアの違いは？

ルールがまったく違います。もちろん、プロは防具など着けないので、試合では命の危険と



▲トレーニング中の西山さん

常に隣り合わせです。その緊張感は尋常ではありません。
また、今までは自分のことだけを考えて試合に出ていましたが、デビュー戦では、試合を興行として成功させなくてはならないと思いましたが、今までの世話になった道場のみんなへの感謝の気持ちを持って試合に臨みました。勝つことができても本当によかったです。
道場にはたくさんの子もが通っていますね
みんながそれぞれ目標を持ってトレーニングに取り組んでいます。みんなが頑張っているのを見ると、私も頑張ろうと思えます。県北の小さなまちでもやる気さえあればプロ選手になれる

入門して3カ月、アマチュアの試合に出場して、そこでも負けてしまいました。津山では競技人口も少ないので、強くなるためには、出稽古に出ることが大切です。そこで福山市にある道場を紹介してもらい、津山と福山、両方の道場でトレーニングを積むようになりました。そこで出会った人からは、絶対にあきらめない精神を教わりました。そのおかげでつらいトレーニングにも取り組むことができました。そのうちに、実力もついてきて、アマチュアの大会でも優勝できるようになりました。昨年の全日本選手権では1回戦、僅差で判定負けを喫しましたが、相手選手がその大会で優勝したこともあり、プロ転向が認められました。
プロとアマチュアの違いは？
ルールがまったく違います。もちろん、プロは防具など着けないので、試合では命の危険と

津岡政信さん(林田) 東久邇宮記念賞 受賞



発明や知的財産の保護促進、善事に尽力された人に送られる東久邇宮記念賞。津山を拠点に活動する作家・津岡政信さんが受賞しました。

津岡さんは「25年間、作詞を通じて社会に貢献する活動を行ってきました。ただひたむきに活動してきたことが評価されたのでは。これからは人の生き方に影響を与えられる詞を書いて、津山が思いやりと優しさ、温かさにあふれる文化のまちになるような活動をしていきたい」と語りました。

東久邇宮記念賞は三大宮様賞(高松宮様賞・秩父宮様賞・東久邇宮様賞)の一つとされており、別名「大衆ノーベル賞」とも呼ばれています。